

浮穴地区タウンミーティング

平成24年9月27日（木曜）

【市長】 皆さんこんばんは。今日は平日の夜ですが、お仕事でお疲れの方もいらっしゃるかと思いますが、このようにたくさんの方がお集まりいただきまして本当にありがとうございます。また、このタウンミーティングの開催に当たりましては、浮穴地区の広報委員会の好永会長さんをはじめ地区の役員の皆様のご協力をいただきました。本当にありがとうございます。さて、私が市長に就任をさせていただいてから1年と10カ月になろうとしております。このタウンミーティングは私が就任させていただいてから始めさせていただきました。それはこう思ったからです。松山市は公民館本館の数でいいますと41の地区に分かれます。市役所がまちの真ん中にありますけれど、市役所に皆さんが来るのを待ってるほうが楽です。でもそうじゃなくて我々のほうから41地区に出向いて行って、各地区のまず魅力について教えていただく。そして問題点、課題点を教えていただく、こういうタウンミーティングを開催しようと思いました。なぜ、まず魅力なのかと申しますと、まちづくりをする上でその各地区の魅力を一番知っているのは当然、地区にお住まいの皆さんが一番よくおわかりですよ。その魅力を活かしたまちづくりができるとその地区はなお輝くと言えらると思います。ここで行政が主体になってまちづくりをしてしまうと、金太郎あめのような地区が41地区できてしまう、その41の集合体の松山市は本当につまらんまちになってしまいます。そうじゃなくて各地区の魅力を活かしたまちづくりができると、その41地区の集合体である松山市はなお、いいまちになると思いますので、まずは皆さんに各地区の魅力について認識していただく、お互い気づこう、そして問題点、課題点について教えていただくこうと思っております。そして松山市の仕事は本当に幅広い分野にまたがります。ここで答えをできることにはお答えをしてみたいと思いますが、中にはすぐにお答えができないものもあります。例えば国と絡むもの、県と絡むもの、財政的な問題があるもの、そういうものはいったん持ち帰らせていただいて、そして1カ月をめぐりに地区に答えを返させていただきます。なぜ1カ月かかるかという、いったん持ち帰らせていただいて国のほうに問い合わせる、国のほうから答えが返ってくる、また、県のほうに問い合わせをする、県の

ほうから答えが返ってくる、そして松山市の方向性を決めますので、1カ月くらいの猶予をいただきますけど、必ず答えをお返しする。やりっぱなしにしない、聞きっぱなしにしないというのが、この松山版のタウンミーティングの特徴でございます。決してガス抜きではない、やりっぱなしにしない、聞きっぱなしにしないというのが、この松山版のタウンミーティングの特徴でございます。それでは松山市の仕事はかなり幅広い分野にまたがりますので、各担当の部長、課長たちが来ておりますので、自己紹介をさせます。

【市民部長】 皆さんこんばんは、市民部長の三好でございます。このタウンミーティングを統括しております。普段の仕事といたしましては、窓口における行政サービスの提供ということで取り組んでおります。市民課、22支所、7出張所、サービスセンター、パスポートセンターこういった幅広い分野を持っております。そのほかに住民主体の地域のまちづくり、男女共同参画、人権啓発こういった市民生活に密接な仕事に取り組んでおります。今日はよろしくお願いたします。

【保健福祉政策課長】 皆さんこんばんは、保健福祉政策課長の津野でございます。国民健康保険とか介護保険、高齢者に関すること保健所に関することなど保健福祉を担当しております。よろしくお願いたします。

【環境政策課長】 皆さんこんばんは、環境政策課長の大野と申します。環境部ではゴミの問題であったり、海や川の水質保全、地球温暖化対策そういった仕事に取り組んでおります。本日はどうかよろしくお願いたします。

【都市政策課長】 皆さんこんばんは、都市政策課の白石と申します。都市整備部では道路、公園の整備、維持管理を行っております。本日はどうぞよろしくお願いたします。

【下水道政策課長】 皆さんこんばんは、下水道政策課長の青木でございます。下水道部では公共下水道による河川の水質の改善、下水排水路等の整備、がけ崩れ防災対策事業を所管しております。本日はどうぞよろしくお願いたします。

【市長】 という、今日は5人でございます。今日は90分という時間でございます。肩ひじ張っているとさすがに疲れてしまいますので、ざっくばらんに8時半くらいまでできればと思います。今日のタウンミーティングで、32地区目ということになります。タウンミーティングは、そこでいただいたことにできるもの

はすぐにやるというスタンスで臨んでおりますので、前向きな議論ができればと思います。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

【男性】 皆さんこんばんは。大変お忙しい中、またお疲れのところ市長さんをはじめ、各部長さん課長さんにご出席いただきましてまことにありがとうございます。地区の魅力というんですが、ちょっとピントが外れたかもしれんのですが、よろしく願いいたします。浮穴地区は市の南部にありまして東西に約6.7キロメートル、南北に1.3キロメートルの細長い地形になっております。南には一級河川の重信川、北は内川に挟まれた平坦な地形でございます。地区内には浮穴公民館、南高井分館、森松分館、井門分館、県営森松団地に集会所等があります。学校は浮穴小学校、南第二中学校、松山中央高校、また幼稚園、保育所等があります。浮穴小学校には町の木であるクスノキの大樹があります。町の花アサガオは毎年朝顔コンクールを実施しております。重信川の堤防には曼珠沙華ロードといいまして彼岸花が咲きますので、毎年俳句を募集し、優秀作品を表彰しております。また南高井町には名水百選に選ばれております杖ノ淵公園があります。夏には子どもさんたちがたくさん来て遊んでおります。杖ノ淵公園は、昔、大渴水がありましてそのときに高井の里で老婆に水をもらい弘法大師さんが杖で地面を一突きしたところが水が湧き出たといわれている杖ノ淵公園です。そのきれいな水が川に流れて、ていれぎが生息しています。正岡子規の句に、「秋風や 高井のていれぎ 三津の鯛」というのがありますが、高井のていれぎを句に詠んでおります。また井門町には郷土館井門駅があり昔の農耕具や生活用品等を展示しております。ちょっと一例を挙げますと手動式の蓄音機とか、おくどさんとか釜、それから火吹き竹、昔の遊びでいうたら手まりとかこま、たこなどその他多数展示しております。井門町にはまた昭和45年6月17日に指定されております重要文化財豊島家住宅もあります。それと浮穴校区では伝統行事等がたくさん残っております、南高井町の正友神社では初子さんとか節分祭、森松町の須我神社では入端祭とか井門町三島神社は秋祭り、輪越等を今も行っております。三島神社の秋祭りは昔は井門と森松の2体のみこしが宮出しをして鉢合わせもしていました。現在はしておりません。その他昔の行事で亥の子とかそれから獅子舞。現在も獅子舞はお祭りの準備で今晚も練習をしております。城山公園の総練りの3年くらい前、浮穴の獅子舞も参加させていただきました。それに一番近いところ

で9月29日観月祭を行います。花火大会もありまして多数の見物客が訪れております。重信川の松原泉を再生していただきまして蛍が飛んでおります。現在は高速道路も通り、33号は車で渋滞の状況が毎日朝夕続いております。通学の学生さんたちの自転車が大変注意しなければいけないと思います。昔は伊予鉄道がありまして、森松から市駅まで坊っちゃん列車が走っておりました。また浮穴小学校の旧校舎は木造2階建てで校舎の裏には川が流れておりました。その川にはヤツメウナギとかフナ、ドジョウとかドンコその他ゲンゴロウなどもいたような記憶があります。今は川が整備されてなくなっております。魅力というか昔の話のようになってしまいました。以上で終わりたいと思います。最後にただいまお城下ウォークを募集しております。締切は10月15日までだったので、皆さんできるだけ歩くということは健康の第一だと思います、珍しい発見もあると思いますので、どうか皆さんも申し込んで歩いていただきたいと思います。以上で終わらせていただきます。

【市長】 はい。いろいろとお聞かせをいただきました。私も以前観月祭の司会を前の仕事のときに2度ほどさせていただいたことがありましたので、観月祭の魅力はよくよくわかっているつもりです。明後日なんですね。それと32地区目だと申しあげたんですけども、これだけそろってるところも珍しいと思います。まず水がふんだんであるということ、町の花がアサガオというのは知りませんでした。そして曼珠沙華ロードと杖ノ淵公園はもちろんですね。松原泉はちょっと見たことはあるんですけども、あれだけ浅くて魚も泳いで安全にちっちゃい子どもが魚をとる体験ができるのはなかなかありませんので、松原泉も本当に宝だと感じました。最後に歩いてくださいというお話がありましたけども、確か曼珠沙華ロードも歩くイベントされてますよね。ちょっとデータを披露すると、国民一人一人が一日あと3,000歩歩いていただくと、国全体で2,700億円の医療費が削減できるというデータがあります。その2,700億円医療費削減できたら、ほかに使えるお金に回るんですよ。2,700億円医療費適正化できたらほかに2,700億円使えるということになりますので、できるだけ可能な方には歩いていただこう。3,000歩というと大体2キロくらいになりますので、例えば朝1キロ、夕方に1キロとか歩いていただくと健康につながる、医療費の適正化ができて使えるお金も回るという、いいこともたくさんあります

ので、また私からも歩いていただいたらと思います。

【男性】 今住んでるのはちょうど橋の重信橋の根っこで、76年住んどるわけですけど、もう市長さん松原泉のこともよく御存じで浮穴の魅力も御存じだと思うんですが、河川敷を利用した公園もいっぱいありますが、これは皆地元のボランティアによって整備されておると考えており、またそうあらねばならないと思っております。それは私たちの故郷誇れる自然を自分たちの手で完成させる。行政は先歩いてはくれない、後押しはしてくれる、それでいいんやなかろうかと思っております。そういうことでやっぱりこの重信川の大自然をもっと生活の中に取り入れていきたいということです。

【都市政策課長】 重信川につきましては御存じのとおり国の敷地で、その一部をお借りして松山市がテニスコートとかソフトボール場とか運動施設を整備しているところです。先ほど言われましたように、管理につきましては地元のほうで管理していただいております。今後におきましても、重信川の緑地につきましても、地元の方と一緒に協力しながら管理に努めてまいりたいと考えております。

【市長】 公園の話が出たんでせっかくなんで。皆さん公園をこうしてくれたらいいのになとかご希望とかがあればこの機会なんで、松山市でできること、また国土交通省に働きかけることもあると思いますが、何かご要望があれば。

【男性】 上のほうに多目的広場、これ体協のゲートボール、グラウンドゴルフ部が清掃やっておるわけですけど非常に大変な作業でございます。そしてまた土曜、日曜日になると校区外からも利用者が来ます。そうしますと自動車が土手にずらっと並ぶわけです。そうすると一般の交通の妨げになる。なんとか車が河川敷へ下りれるようなスペースをつくってもらえないか。それともう1つ、重信川の自然を満喫してもらえる簡易なベンチの設置。まあこれ構造物の問題がありましようけどできないかというお願いでございます。

【市長】 わかりました、河川敷に駐車場とか。そうですね、確かに外から車で来られるでしょうから、そういう方が沿道にとめると。そしてまた駐車場ができれば、そうですね。そしてベンチですか。このあたりは白石課長何か。

【都市政策課長】 駐車場またはベンチ等につきましては、お話お聞きしましたので、今後具体的にどういう形で駐車場がほしいとか、ベンチがこちら辺にほしいというお話をいただければ、市と国でまた検討させていただきます。具体的に

どういうところにほしいとかいう提案があれば。

【市長】 このタウンミーティングは大体8時半くらいに終わるんですけども、我々すぐ帰るわけではございません。よくあるのが、ここの道路がちょっと危ないんでなんとかならまいかとか、例えば地区の総意で多くの方のご意見でここに駐車場があればいいんだけどもみたいなことを、終わった後言っていただいたら、そのまますぐ動くことができますので、おっしゃっていただいたらと思います。

【女性】 昔は河川敷に遊具がありました。松原泉を再生するために遊具とそれからトリム公園がなくなってしまいました。休みの日などは子どもたちを連れてよく遊びに連れて行ってたんですけども、今ではそういう遊び道具がなくなったために小さい子どもが遊べる場所がなくなってしまってるんです。できればそういうのをつくっていただくとか、石手川の公園にバスケットコートができましたよね、そういう中学生、高校生たちが外で遊べる遊具もつくっていただけたら、健全な子どもの育成にもつながると思いますので、ご要望申し上げます。

【都市政策課長】 この件につきましても、先ほどのベンチとかと同じですので、お話を聞いていただいて、今はちょっと結論は出ないんですけど、国なりと協議させていただきたいと思います。

【市長】 私もこの立場をいただいているいろいろと勉強させていただくんですけども、自分でも今ちょっと疑問に思ったんですけど、基本的に国、重信川、石手川ともに一級河川で国が管理しております。洪水になったときにそこに引っかかって詰まったりするといけないので、基本的にそういう構造物はつくりたがらない部分があります。石手川って今公園をかなり整備してますけど、なんでできるんですかね。

【都市政策課長】 石手川は、県と協議した中で設置をしているところです。

【市長】 流量とかの問題もあるのかも知れませんね。はい、基本的に構造物はつくりたがらない部分があると思いますけども、それでも協議して、変えられるところもあるかもしれませんので要望承ります。

【男性】 先ほど、森松橋とか重信河原とか出てきましたけれども、私が言いたいのは、松山市50万の人口がありながら、5月の鯉のぼりなんかでも松山市より離れたところにみんな見に行く。春には菜の花ですけども、松山にそういっ

た場所はない、松山市より離れたところに見に行く、こういう現状じゃないでしょうか。50万都市としては、やはり、松山の市内、それだけの場所を有するこの浮穴に、ぜひそういったものをつくっていただきたいと思います。そして、衣山には総合公園があります。なぜ、あそこに、サクラメントの木を植えて季節季節のサクラメントの木や花が咲くような山にしないのか、こう思っております。それともう1つ、橋、非常に古い橋ですけれども、近代的な形をもっている橋と思います。色を塗り替えていただくと同時に、よく帰省客、お盆とかお正月に瀬戸大橋ライトアップ、橋そのものにライトがつきますよね。ああいったものも帰省する人たちのためにも、つくったらどうかと。もう1つは、橋の北から南に向けて、鯉のぼりを泳ぐようなものもあってもいいんじゃないかなと思います。

【市長】 私からお答えしましょう。まず、総合公園。今度、26年の3月に全国椿サミットがあります。松山市は椿の花が市の花ですけれども、椿が市の花、町の花になっているところ全国にあります。そこで、全国椿サミットをやるんですけれども、それをやるので、総合公園もだいぶ年を経ってきてますから、高齢者の方にも配慮した公園に改修をしようとしています。ドッグラン、ワンちゃんと一緒に散歩できる公園を松山総合公園につくろうとか、魅力的な公園にしようとしています。総合公園には、サクラメントゆかりの木もあるんですが、実は、植物検疫の問題がありまして、外国から植物をそのまま持ってくるのは難しいんだそうです。私も、サクラメントから苗木持ってきていただいて植樹できると思ったんですけれども、植物検疫の問題があって、日本に今あるサクラメントゆかりの苗なら植えることができるんですけれども、そういう問題があるということで、やり方を工夫しないといけない部分がある。いずれにしても、総合公園をより魅力的にしていきたいと思います。それと、ライトアップにつきまして、花園町をこれからのまちづくりにふさわしい場所として取り上げさせていただくんですけれども、今年、ライトアップをしますので、これは花園町でもやっていきます。そして、花のまちづくりは、できたら浮穴の皆さんやってみませんかと思っております。私、前の仕事で愛媛県内だけじゃなくて中四国、九州までいろんなよいまちづくりを20年、見せていただきました。花のまちづくりというのは、比較的、軽作業でできるんですね。花はそんなに重くないですよ、植えてたら自然に咲いてくれる。春は菜の花、大洲の五郎に行ったらあります。秋になった

ら伊予三島の翠波高原のコスモスあります。そういうように、花で名所になっているところはあります。案外、松山にはないんですね。そういう花ができると人は見に来てくださいますから、例えばそこで浮穴のものを販売するとかもできると思いますので、花のまちづくりは、今、41地区でどこが先にやるかという状況だと私は思っています。比較的、軽作業でできると思いますので、町の方であそこの土地を使ってというのもひとつやり方としてあると思います。鯉のぼりも確かに松山市内ないですね。これもやってないので、面白いまちづくりができると思います。例えば、家で使わなくなった鯉のぼりを集めてどこかにかけるとかもできようかと思えます、これは県外だったかな、鯉のぼりを空にかけるのじゃなくて、川で鯉のぼりを流してしまうというのもあります。いろんなまちづくりがありますので、参考にさせていただいたら、また町の皆さんで考えていただけたらと思います。まちづくりというのは、いろんなやり方があります。行政がやるケースと地域と行政が一体になってやるケースと地区でやるケースと、この花のまちづくりなんか、地域からでてくるほうが成功すると思います。行政で、浮穴さん、花のまちづくりやってくださいねと押しつけると、大体押しつけたまちづくりは失敗する。地域からでてくるほうが確実に根づいていきますんで、そういうまちづくりのほうがよろしいかと思えます。

【市民部長】 今、市長が説明しましたように、重信川の活用と合わせて橋、これ県道ですので、先ほど申されたライトアップなり鯉のぼりとかも私から県にはお伝えしますが、なお地元からもお話を、道路であれば県道の管理者、県です。そしてまた、河川であれば国ですから、そういうお話もされるとまたいいとは思っています。

【市長】 先ほど、縦割りの話をしたんですけども、我々、タウンミーティングで、「それは県の話なんで、県に言ってください」とか、「それ国の話なんで、国に言ってください」とはしません。必ず我々が受け止めて、県のことだったら県につながります。国のほうにタウンミーティングでこういう意見が出ましたんでって国のほうにつながります。でも、要望をされる場合は、例えば浮穴地区がこういう要望を出されてますいうときに、国とか県が受け止めるときに、そんな大げさなこと言よるんじゃないんよ、これだけのことしてくれたらええんじゃないんよ、簡単に解決できることも、大げさになってしまうこともありますので、要望は直

接言っていただくと一番落としどころがわかりやすいので、我々からもつなぎますけど、できたら皆さんのほうから言っていただくほうが確実に、どこまでしてほしいんだというのがつながりやすいと思います。

【女性】 土手のゴルフ場に近いところにテニスコートがあるんです。あそこは無料でできるので、学生さんがすると1コートしかないので、あとの人はできません。その横に草が生えているところがあるんです。サッカーをするようにしているんでしょうけど、枠だけはあるんだけど、サッカーをしてるのはほとんど見たことないんです。もしできれば、もう1コート、テニスコートをしていただければ、もったいなくないと思うんです。あの草が生えてはまた草刈って、また草が生えては草刈って、それで、しまいにはゴルフしている人、本当はいけないんですけど、打ちっぱなしをしている人がいるんです。あそこももったいないからどうかしていただいたら、ほかの人もテニス、今から涼しくなるのでね、運動もする人もいるでしょうから、もう1コートできたらって意見です。

【白石課長】 後ほど場所を確認させていただいて、対応したいと思います。

【市民部長】 今のは一番泉の東のところ。

【女性】 ゴルフ場よりに。

【市民部長】 確かハードコートのテニスコートと土のコートのところで草がたくさん生えているところですね。国土交通省にお伺いしましたところ、あれは森松ゴルフ倶楽部に貸して、多目的で使わせてるところですけども、国土交通省のほうも状況を把握しとりまして、早速指導させていただくということなんで、ちょっと時間をいただいて、このタウンミーティングの結果公表するときに報告させていただきます。

【市長】 確かに今日皆さんからいただいたお話で、重信川の河川敷をもうちょっと有効に活用できないかというのが浮き彫りになってまいりました。我々の立場からしても、皆さんに河川敷を有効に利用してもらって、スポーツができるとか、お子さんも安全に遊べるとかそういう場所にできれば、我々としても助かるわけですので、これはまた、国とも話をしてみましょう。

【女性】 小さな話ですけども、浮穴支所の前に小さな道路があるんですけど、旧の33号線からこの支所に向けて出る道がついています。両側に民家がずっと並んで、その角がちょっと狭くて、軽四は通れるんですが、普通車が塀に当た

って傷がいたりして通れないんです。そして、昨年ですが、裏のどぶ川を埋めていただきまして、自転車とか歩きの人は通れるようになりました。そして、そこを自転車で通ったりするんですけど、支所へ曲がるところは道路がちゃんとできてますけど、それを越して33号線に出るところ10メートル程はどぶ川のままんなんです。その区切りのところを柵も何もしないで、ほったらかしなんです。そして、できたてのころは、よく学生なんか自転車で乗ってて通りよって落ちたり、女の人も落ちたり、一人は救急車を呼んだこともあります。そんな状態でほったらかしになって、ちょうどその角に家があるもんですから、私はそんならぜひ寄附さしていただいて、普通車でも通れるように、支所のほうまで曲がれるようにしていただいたらと思って申込みしたら、「それはありがたいことです、でも工事は自分でやってください」と言われました。寄附するのに、何で工事まで渡さないかのじゃろとかと思いましたので、質問させてもらったら。

【都市政策課長】 後ほど、お伺いいたしますので。

【市民部長】 正確なお話し合いができるために、終わった後に河川担当課長と道路担当課長と農道の場合はまた私が関連しますので、きちんと場所の把握をして、どういうことができるか、どういう問題点があったか時間をいただいて、正確な答えをさせていただきたいと思います。

【女性】 井門町では年4回ぐらい市民清掃、町民清掃、水路清掃それから年末の神社のお掃除、そういうお掃除の寄りが4回あるんですけど、町内会長さんに高速のトンネルの下をできてから1回も掃除したの見たことなくって、電気がついてるのにクモの巣がついて真っ黒で汚くって、犬連れて歩いてても不愉快な感じがするんですすぐほこると思うんですけど、年に1回くらいはきれいに天井からお掃除してほしいと思うんですけど、あれは町民がするんじゃなくて国土交通省がするんじゃないのとかおっしゃられてお話にならないんで、どんなんでしょうかと思ってお聞きしました。今も来るときに三島公園の電気が切れてるんですよ。真っ暗でトイレの電気はついてたんですけど、この前も町内会長さんがお願いしても何回も壊されるっていうんで、子どもさんがたぶん壊すんだと思うんですけど壊れないような電気がないかなと思ってお聞きするんですけど、よろしくお願ひします。

【環境政策課長】 高速道路の下、トンネルが何カ所かあるので、管轄がどこか

をまず調べさせていただきたいと思います。掃除は、その管轄がやると思うんですけど、今掃除についてはいろんな地区でポイ捨てとかありまして、市も市民大清掃をやったり、城山とか決めて住民の方と事業者と一緒に頑張ってごみの掃除をやっているんですけど、例えば道路のいろんな場所にごみが落ちてるとかありますので、そういったところは住民のボランティアみたいな形でしていただいて、袋なんかは事前にお渡ししますし、集めていただいたら清掃課でちゃんと取りにまいりますので、そういうことはボランティア清掃でやっているんですけども、今おっしゃられた高速道路の下は確認させていただいて、ご返事させていただけたらと思います。場所は後ほど確認させていただいてよろしいでしょうか。お手数おかけしますがよろしくお願いします。

【男性】 今の公園のお話は先日からブレーカーが落ちるので、どこかショートしていると思うので、公園緑地課で対策をしていただいておりますので、今しばらくお待ちください。

【市長】 松山市役所は3,400人全部で職員がいるんですけども、中にはどうかなって職員もいると思います。そういうケースがあったらどうぞしかってやってください。もし言いにくい場合があったら、わがまちメール、インターネット上で市長に直接来るメールもございますし、もちろんハガキでも結構ですので言っていただいたら。

【男性】 国道に関することですけど、松山インターの入口、南署の前の交差点、ここが非常に交通量が激しくて、特に朝の学生が自転車で通学するのに、非常に見ると危険なんです。ちょっと距離が長いもんですから年配の方が歩いて横断するのも非常に危険なだけども、中央公園から出てきている立体交差に入ってきているのは、インターの33号に下りるんでしょうか。もう1つ、学生が朝通学します、自転車で。何か方法ないもんでしょうか。平面交差になってますけれども、例えば立体にするとか何かございませんでしょうか。

【市長】 これ2点、信号のことで道のこと。道は外環状のことですね、全体的なお話からさせていただきます。私から、あの道路をなぜつくっているのかという話からさせていただきます。今、南署から西のほうに伸びておりますのが松山外環状線といいます。国と県と市で共同してやっております。なぜあれをつくっているのかといいますと、全国の24の地区で、インターチェンジと空港の間が

何分かかりますかという調査をしているんですね。皆さんも頭で思い浮かべてください、松山インターから松山空港まで何分かかかるか。30分以上かかりますよね。全国24の中で30分以上かかりますっていったところが4つだけあるんです。1つは松山、あとの3つは北海道の3地区なんです。あの大きな北海道と同じような状況に松山がなっている。インターチェンジと空港が時間かかりすぎているんです。そのため、四国中央市の方なんか、松山空港行かずに高松空港利用したほうが早いっていう方もいらっしゃるくらい、時間かかりすぎてる。今、わざわざ街中に入ってきてるんです、松山の道路は。松山インターチェンジから朝生田、天山まで来て環状線まわって新空港通りで空港に行く。それを斜めに行けると30分が10分で行けるようになる。そうすると何がいいかっていうと、大きな災害が起こったときに緊急の避難道路、物資を運ぶ道路になります、これが1つ目。2つ目は渋滞の解消ができます。渋滞が起こると、車と車が止まっている間をバイクが走る、自転車が走ると事故が起こりやすい。交通事故の減少にもつながっていく。そして渋滞するとCO2が出ます、二酸化炭素、地球温暖化対策にもなる。そして貨物も定時で運ぶことができるという5つの利点があるので、今松山外環状線を国と県と市で共同してつくっているという現状です。

【都市政策課長】 今のおっしゃられるとおり国道33号と外環状線は平面交差します。交通量につきましても、外環状線クラスの道路につきましても、将来交通量を予測して何台くらいここに車が来ますよということで、幅員とか決定しておりますので、全線が開通した場合には渋滞は解消されると思います。今はまだ工事中ですので、どうしても1カ所に集中すると思います。

【市長】 もし皆さんのお近くでちょっと信号が短いところがありましたら、我々に言っただいただいたら愛媛県警につなぐことができます。これまでの地区でもあったんですけども、皆さんからお年召した方が渡りきれないのに信号が変わりよるよっていうケースとかもあるんですけど、それ伝えると県警のほうで考えて、信号の時間変えるといろんなところで影響はしてくるんですけど、県警の交通規制課ですかね、時間変えたりもできますのでまたおっしゃっていただけたらと思います。

【女性】 森松団地の周辺に車の往来の多い四つ角が2カ所あるんですけども、頻繁に事故が起きています。西のほうに行ったら、道路を赤く塗っている交差点

があるんですけども、そういうふうにするのは難しいのでしょうか。ちょっとお伺いしたいんですけども。

【都市政策課長】 交差点の着色については、市内で交差点の事故が多いところについては、そういう交差点がよくわかる工夫はしております。また現場等につきまして、現地調査させていただきたいと思います。

【市長】 終わった後に場所を言っていただいたらと思います。去年の11月29日、浮穴小学校にスクールミーティングに行かせていただきました。主な目的は、子どもたちのコミュニケーション能力が落ちてくるので、コミュニケーション能力を伸ばそうねっていう事業をしてまして、小学校に行ってます。浮穴小学校に行ったときに子どもたちから「通学路で危ないところがあるので市長さん何とかしてくれませんか」って言われたことがあります。それは今、改善に入っております。そのように、11月29日に浮穴にスクールミーティングさせていただいた後、今年4月に京都の通学路で死亡事故が起こりまして全国で一斉点検をやっていうことになりましたけれども、やれることはできるだけ早くやります。よく、通学路とにかん安全にするためにガードレールをつくってくださってと言われるところあるんですね。でも難しいところがあって、沿道に駐車場持ってる方は出入りができなくなる、ガードレールをつくれれば安全になると思うんですけど、地元の方の車の出入りも配慮しなくてはならない。そして暗渠、溝にふたしてくれたらっていうのもあるんですけど、これは2つの難しいところがあって、農業用の水路は農家の方の承諾、ふたしてしまうと掃除がしにくくなるから困るといふことで、安易にふたができないこともある。農家の方のご協力が要ることと、とにかく道広げてくれたらいいんよってこともあるんですけど、道広げると逆に抜け道になって車がスピード出してかえって危なくなることもあるので、総合的に考えないといけないこともあります。色を変えるのはガードレールをつくるよりは比較的簡単にできますので、ある校区で要望いただいて色を変えたところもありますので、そのようにすることもできますので終わったら場所を教えてください。

【男性】 ここに浮穴ふるさと音頭という歌詞を持って、今までお話聞いておったんですけども、今まで出た中で重信川、森松橋、高速道路、公園、団地と出てきましたけれども、私が言いたいことは、豊島家、郷土館、ここで提案したいん

ですけれども、浮穴よいとこっていうの1番から4番まで最初にあるんです。浮穴よいとこっていうことに関して、私はその近くにさわる博物館をつくってほしいと。国立民族学博物館の広瀬浩二郎准教授が提唱しておるんですけど、ハンズオン展示ということです。これは子どもから大人まで触れることによって感じる、触ることで微妙な筋肉のふくらみもわかりますし作品に込められたエネルギーも感じるができる、見ることではわからないことを触ることを通してということで、そういったもの、浮穴だからできるんじゃないか、必要じゃないか、そのように感じます。ぜひ、さわる博物館、豊島家、郷土館、その近くにつくってみてはどうかと思います。

【市民部長】 松山市にも子規記念博物館、坂の上の雲ミュージアムあるんですけど、なかなか貴重な資料の場合は触るとするのは難しいんですけど、今すぐにお答えできませんので、勉強させていただいて、後ほどまた、たぶん学術振興という分野だと思いますので、所管課とも相談させていただいて、どういうことができるのか。

【男性】 慶応幼稚園を出たところの四つ角で、毎年のように交通事故が起こります。1つは道路が整備されてよくなったことが要因ではないかと思っております。これは松山市に要望してもどうなのかなと思うんですけど、幼稚園の隣に南第二中学校がございます、浮穴小学校の子どもたちもよく通る道でもございます。日本の道路を見てると、どんどん整備されてスピードが出しやすくなってるんですね。特に学校が近いところについて、車がスピードを出しにくくなるような道の構造というか、例えばでこぼこをつけてみるとか、そういったものをできれば松山市から国のほうに要望していただけると、そういうのが日本になかなかないと思うんですけど、子どもが事故に巻き込まれるのを防ぐ1つ方法があるとしたら、車がスピードを出せない道っていうのも逆にありなんじゃないかと思うのでご提案させていただきます。

【市民部長】 たぶんおっしゃられてるのはコミュニティ道路といいまして、今残っているのは県病院のところにジグザグになってる道あるの御存じですか。それから三津にも曲がりくねった道があってスピード出ないようにしてあるんですけど、おっしゃる通りスピード出さずに交通事故を防ぐ道つくるんですけど、両面がありまして、そういう安全な道の一方走りにくい、荷物運ぶときにとめれ

ん、いろんな意見がありまして、今コミュニティ道路という形でつくってないと思うんですけど、今後、交通安全対策としてそういう需要もあると思いますので、提言という形で持ち帰って、どういう対応ができるのかを考える時間をいただきたいと思います。

【都市政策課長】 ご質問の件はおそらくでこぼこ、ハンプだと思います。松山市内では今そういった段差をつけたハンプ的な舗装は、騒音などの影響で市道についてはやってない状況です。見かけ、視覚的にハンプつける方法もありますけど、なかなか難しい状況でいろんな交差点において工夫してます。この道路につきましては30キロ規制はしてますけど、なかなか難しい状況ですから、視覚的に幅を狭く見せるとかいうことも、今後現場で検討したいと思います。

【市長】 先ほど申し上げました浮穴小学校に私が行ったときに、子どもたちから、道を広げてもらえないでしょうか、危ないところがあるんですけどっていただいた件の検討結果、どのようになるのかをご説明させていただきます。

【都市政策課長】 今、市長説明しましたように、今年の11月のスクールミーティングで出た話の中で、今回、地元の総代さん、また皆様のご協力によりまして道路を整備することとなりました。整備時期につきましては11月くらいに業者が決定して、12月くらいから工事。用水の関係がございますので来年の5月までには道路建設課と河川水路課で仕上げる予定です。延長的には県道から約270メートルの間が道路建設課でやります。その東側、黒色のところ約60メートルはすでに施工済み、その東側、赤の部分約130メートルにつきましては河川水路課で実施することとしております。

【男性】 現在の伊予鉄森松バス停から重信橋に至る県道194号線が度重なる改修で非常に極端なかまぼこ型になつとる。歩くと斜めになって歩かないかん、車いすも非常に危険。それと道路と宅地の間の段差がありすぎて鉄板を敷いとるところが非常にたくさんあります。非常に危険なので改修はできないだろうか。

【都市政策課長】 これも県道ですので、県にお伝えさせていただきます。ご連絡先を教えてください、県からまた連絡してもらおう形取りたいと思います。

【男性】 先ほど紹介していただいた森松観月祭が29日に行われます。今日も河原で踊りの練習しよるんです。市長さんが来られるっていうんで皆張り切って練習しよるんですが。お忙しいとは思いますが、29日ちょっとでも来れるよう

でしたらお越しく下さい、お願いします。

【市長】 ありがとうございます。今日、お祭りがいろいろと出てきたと思うんですけど、輪越とか観月祭とか、これは皆さんただのお祭りとしてとらえるんじゃないで、今本当にコミュニティが崩壊しているってよく言われるんですけど、子育てだって昔は近所のおいさんやおばさんが怒ってくれた、面倒もみてくれたやないですか。本当に少子高齢化もあって個人とか孤独、「こ」が目立つ世の中になってまいりました。できればつながりのある時代に戻したいって思っています。介護の問題もそうです、一家庭で抱えるのではなく近所と助け合うことができたなら、子育てもそうです、そういう時代に戻せればと思っています。そういう機会なんです。地区の運動会、地区の文化祭にも行かせていただきますけども、顔見たことあるんやけれども話したことない方と話してみるいい機会ですよ。つながり、コミュニティできていきます、コミュニティができるといざというときの助け合いにもつながっていきますので、そういう機会だとお祭りをとらえていただいたらと思います。できればせっかくなじみのある観月祭ですから行きたいなと思っています。

【市長】 あと事前質問にあった中で今日は質問が出てないものがありましたら、前神課長読みあげてもらえますか。

【司会】 高齢者対策とか子育てとかのご意見もいただいておりますが。

【市長】 はい、あと消防署の跡地のことも以前からあることなんですけど。

【市民部長】 消防署跡地の建物はどうなってるんだろうかという事前質問いただいておまして、所管課に聞いておったんですけども、新しくこの建物が建って支所としては最新式になった。消防署も本当に広い便利のいいところに移った。通常その後つくった分に関しては行政が処分するんですけども、処分というのは別の用途に転用するとか売り払ってしまうとかいろいろな選択肢があるんですけど、建物としては耐震性が非常に悪いということで、建物としては使えないと聞いております。やはり新しいものをつくりましたので、売却という方向ではなっておるんですけども、もし住民のほうで非常に公共性が高い緊急性のあるもので、ぜひこれをというものがあれば、提案いただきましたら担当課として対応させていただくこともあります、行政は一定の方向性は出しておりますけど、場合によっては、また別用途に転用ということもございますので、また皆さ

んのほうで意見をまとめていただけたらと思います。

【男性】 あそこ商工会で観月祭のときの倉庫に使わせていただいとるんですが、いつでも撤退するように、もう十何年か前に了解は得て利用させていただいております。プレハブと資材置き場に使わせていただいております。

【市民部長】 そういう意見も含めまして、また本当にご意見いただいおけば融通ができるところ、地元が使うのが一番ですので、できるだけ融通ができるところは融通するということもできると思いますので、ぜひ忌憚ない意見を聞かせていただけたらと思います。それからもう1つ、今日道路についてのたくさんの意見をいただいておりますが、よくタウンミーティングで、なかなか行政に聞きにくいんと、確かに対応悪くて申し訳ない点もあると思うんですけど、行政として聞いてできることはやりますので、遠慮なしに電話してこんなことあるんじゃないかと聞いていただいたら、それは県の場合であっても、国の場合であってもおつなぎすることはできるし、場合によっては中に入ることもできますし、できるだけ課題を解決できる努力はいたしますので、ぜひ相談していただきたいと思っております。

【男性】 水資源のことでお聞きしたいんですけど、この辺も時々湧水とかがあるんで、前の中村市長のときは安城寺かあっちのほうで地下水を開発しようとか聞いたことがあるんですけど、どういう方向で松山市は水を確保しようとかされるんか教えてほしいんですけど。

【市長】 これは大きな課題ですので、私からお答えをさせていただきます。平成21年、県営団地で水が枯渇するということもありまして、松山市は主な水源は2つです。1つが石手川ダム、1つが地下水です。この2つしかないんです。ですので片一方に何かあったらもう都市生活が麻痺してしまう状況です。石手川ダムがあるって思われるかも知れませんが、人口37万人の設定でつくってますので、今15万人分不足しているわけです。地下水があるじゃないかって方もいらっしゃるんですけど、地下水は見えないですよ。自然のものですから地下水に頼るのは怖いことです。県営団地でも枯渇したことが最近ありました。今、松山市はできることをしっかりとやってまいりました。節水も進めてまいりましたし、節水していただける方には、節水コマとかシングルレバーとか補助を出してきた。近隣の市や町と、いざというとき、困ったときには助けてもらえる体制とか、深

井戸を掘るとかそういうことをしてまいりました。そして何も進んでないじゃないかと思われるかもしれませんが、非常に大きなことがありまして、愛媛県と新居浜市さんと西条市さんと私ども4者で話し合いができる協議の場ができました。この科学的なデータに基づいて話をする場ができてるっていうのがすごく大きなことです。今7回協議を重ねてまいりました。水の問題は非常に繊細な問題ですので、なかなか一足飛びにはなりません。1つ1つ話を積み重ねていくことが大事ですので、西条市さんからのお水をいただけないかという話を進めているところです。これはしっかりとやっていこうと思っております。引き続き私から、財政についてお話させていただきます。各地区でお話させていただくんですが、行政って動きが遅いって思われるかもしれません。私もできる限り早くと思ってるんですけど、お金の問題、これは松山市だけじゃなくてほかの自治体も苦しんでいます。どうしてかっていうと、今、国においては1,000兆円の借金を抱えていると言われていています。私からすると、だれかここまで来るまでに止める人はいなかったのかっていうくらいあきれんような額です、1,000兆円の借金。国から地方に、地方交付税交付金とか国庫支出金という形で地方にお金が回っています。でも大元が1,000兆円の借金を抱えているなら、この地方に回ってくるお金が増えるとは考えにくいですよ。歳出、これ自治体で1年に出ていくお金です。松山市でいうと一番大きなウエイトを占めるのが民生費、いわゆる福祉にかかるお金です。これが松山市だけで1年で50億円増えた、こういう状況です。松山市だけが特殊なわけではありません、よその自治体でもそうです。福祉にかかるお金が50億円増えたならば、50億円どこかで絞らないといけないんです。この中に生活保護費というお金があります。これも生活する上では大事なお金ですけども、生活保護費も決算ベースで松山市で1年で15億円増えた。そういう状況です。例えば、タウンミーティングで「市長、こういうことしてください、ああいうことしてください」皆さんからいただきます。私も人間です、皆さんから言われたら、「それやりましょう、これやりましょう、あれやりましょう」というのが楽なんです。私の人気取りからいうと、それやったほうが楽なんです。でも民生費が50億円増えたならばどこかで削らなければバランスはどんどん悪くなりますよね。「これやりましょう、あれやりましょう」ってやみくもにやってしまったら将来の子どもや孫にツケを残すことにほかならないんです。こ

の美しい松山、穏やかな松山を子どもや孫の世代にもいい状態で渡したい、あのときにいろんなものをつくってしまったから、後がツケを回されてしまったとはできない。冒頭にも司会から申し上げましたけれど、行政としてやらなければならないこと、行政と皆さんが手を携えてやるべきこと、できれば地域の皆さんにやってほしいこと、そういう3つに分かれると思います。最初のほうに、できたら皆さん歩いてくださいみたいな話をしましたけれども、やはり医療費の適正化もしていきたいと思っております。今日いただいたご意見を持って帰らせていただいて、1カ月をめぐりにお答えを返させていただきたいと思っておりますけれど、こうやって皆さんからお話をいただいて、今松山市として何をしなければならないのかを、皆さんから声をいただくのでよりわかりやすく、判断がしやすくなります。これタウンミーティングしなくて、ずっと市役所において我々だけで考えたら皆さんと距離が離れてしまったかもしれません。こうやって1カ月に2度のペースで各地区に出向くこと、皆さんの声に耳を傾け続けることが大事だと思いますので、タウンミーティングをこれからも重ねていきたいと思っております。財政の話をする、途端に皆さんのほうが金の要る話はいかんのかと思われることがあるんですけど、そうじゃなくって言っていたほうがいいので、これからも言っていたらと思います。

【男性】 始まってから現在まで、行政に言いにくいことを皆さんが申し上げたわけですが、道路の改修につきまして、今年の3月4日に市長さんが文化祭で来られまして、あいさつの冒頭に通学路の整備はやりますということをおっしゃった。農業用水路であるのでまず地権者そして周囲の方々の同意書が必要なので、関係者が約80軒余りありますが、速やかに役員さんとともに回って同意をいただいた中で、この農業用水路は家にじゃないので田んぼがあるということになりますと、田んぼで稲作をつくらんといかん。その水をどうしてかけるか、中には「総代が朝晩来て水をかけてくれるんなら水路のふたしてかまん」というようなご意見も出たわけでありまして。結果としては先ほど市長さんから言われたように、関係者の方々が深いご理解をいただきまして、270メートルと、あいなか河川やるのは140メートルでございますが、この線ができますと国道33号から浮穴小学校の信号までは無事に登校下校ができると私も安心しております。工事は先ほど企画官から説明がありましたように来年の用水までには完成

するということを聞かせていただいております。この点につきまして、いろいろと市長さんをご配慮していただいたことに対してこの機会を借りて私が心から感謝申し上げます。先ほどから浮穴地区の方々がいろいろなことを申し上げたわけですが、その中で十分関係の方々がご理解いただいて、できるだけ速やかに取り組んでいただくことを私からも併せてお願いをしたいということです。もう1点は旧支所、消防署の跡地、ご案内のようにここに支所が平成3年にでき、それ以来あそこを使わずにおる。浮穴地区におきましても高齢化が進んで、今浮穴としては、人口は今日現在では約9,889名、その中には65歳以上の方が2,059名おいでるわけです。男女別でいいますと男性が843名、女性が1,216名ということですし、100歳以上の方が浮穴には3名おいでるわけです。この浮穴地区は、104歳の方が最高齢者という中で、これからの福祉事業として、できれば安心して生活できる環境ができ、ふれあいの話し合いができる場が必要になりますと、先ほど申し上げた旧支所の跡、200坪くらい。あれをできればこれからの高齢化に対する対応を速やかに予算的なものは要るけれども、あの土地そのものは松山市が買った土地ではございませんので、旧浮穴地区が土地を買って昭和34年4月10日に合併と同時に松山市の財産となったということをご理解していただいて、安心してこれからの老後の生活ができる方向に取り組んでいただけるのが幸いじゃなかろうかと。以上私のほうからお願いを申し上げたということでございます。

【市長】 ありがとうございます。最後になりますけれども、私が思っている市役所というのは市民の皆さんの役に立つところでなければならないと思っておりますので、これからも敷居が高いなと思わずに、いろんな声を寄せていただけたらと思います。今日はちょっと時間過ぎてしまいましたけど、もう少しおりますので、道路のこととかおっしゃっていただけたらと思います。今日は長時間にわたりましたありがとうございます。

— 了 —